

知的財産実務教育手法の研究

五丁 龍志 (ごちょう たつし)
知的財産学部 知的財産学科 准教授



用途・応用分野：教育手法、技術者教育、知的財産啓蒙

■ 研究概要

企業をはじめとする経済社会に於いては、商品やサービスを差別化し、ビジネスを効率的に進めるためのツールとして、知的財産の活用が図られている。

しかし、知的財産の掘り起こし、権利取得のための手法、侵害の回避のための手法を教育するための手法は確立されておらず、従来は経験者によるOJTの手法により個々に知識やスキルを修得する方法が執られてきた。

本研究では、知的財産の現場における種々の知識・手法を整理し、これらを体系立てて教育するための方法論を深掘りして、学校教育、企業内教育において活用することを目指している。

■ 研究の特徴

これまでに知財実務の解析・整理から、下記の知財実務に関する教育手法を確立し、現在、本学科の学生を対象とした演習・講義でその内容を検証している。

- ① 実験結果からの発明の把握・抽出
- ② 特許の審査における審査官による拒絶理由通知への対応
- ③ 問題特許の危険度判断とその対応

